

# 横浜市介護支援専門員連絡協議会 連絡協議会議事録

会議名	平成 29年度 第 9 回定例会		
開催日時	平成 30 年 2 月 16 日(金)	19:00~20:30	開催場所 横浜市社会福祉センター8 階
	1	情報提供	
	2	平成 30 年度 YCM 役員(案)について	
	3	平成 30 年予算について	
	4	各委員会報告	
	5	その他連絡事項	

No	議 題	内 容
1	情報提供	<p>◆「特別避難場所運用見直しについて」 横浜市健康福祉局福祉保健課 福祉保健センター担当課長 鈴木 氏 福祉保健課担当係長 後藤 氏</p> <p>・「特別避難場所に関する運用見直しについて」(特養編)が確定し特養には配布している。前回検討から次の点を変更。CM が行う在宅要援護者の安否確認について「制度化する」という文言から、緊急 SS を行った場合に CM などからのルートを受け入れもあるという表現の変更を行う。(冊子は一般には周知しない)</p> <p>・市より特養への特別避難場所運用見直し案内書類内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 緊急入所による受入を行う</li> <li>2) 受入人数に関しては最大定員のユニット型は 2 倍、多床室は 1.5 倍まで受入可能。</li> <li>3) 施設判断による緊急入所の受入可。CM などから緊急入所の依頼があった場合はフロー図をもとに区を通さずに各施設の判断で受入してよいとする。</li> <li>4) 要援護者の移送に関しては、原則自助・共助による対応とするが、必要に応じて協力を願いたい。</li> </ol> <p>※緊急入所実施の上での課題。 発災後、緊急入所で受入をした後の退所についての取り扱い。緊急時、定員の2倍というイレギュラーな状況を勘案し、落ち着いたら在宅に戻すという作業が発生。退所対応を施設だけに担ってもらうことは困難であるため、CM にも協力をお願いしたい。</p> <p>・「特別避難場所」から「福祉避難場所」への名称変更案内 →名称を「福祉避難場所」に変更。福祉避難場所は要援護者のための避難場所であるという事を一般の方に向けて啓発を行う。</p> <p>・今年度の取り組み、次年度の取り組み予定</p> <p>【H29 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>→区局と特別避難場所との通信手段の強化として災害時優先携帯電話の配備</li> <li>→緊急入所の調整</li> </ul> <p>【H30 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>→特別避難場所の被災状況や物資の不足状況など情報を共有できるサイトの構築</li> <li>→特養施設に段ボールベッド、ケアプラザにエアーマットの新たな整備</li> </ul> <p>・緊急入所対象者判断フロー図の説明 緊急入所に該当する方 → 主にケアマネからの依頼 福祉避難場所、その他に該当しそうな方 → 区の救護班が担当</p>

No	議 題	内 容
		<p>Q.要援護者は福祉避難所を利用するが、一般の方の避難場所の名称は？  A.地域防災拠点。横浜市の考えとして、在宅で生活できる方は、無理をして避難所に行かなくてもよい。</p> <p>Q.日中独居の方など、発災後にご家族と連絡が取れない内に緊急入所をすることは想定できるのか？  A.緊急入所といっても介護保険の入所と同じ扱いなので、ご家族の了承のもと契約に基づく申し込みとなる。必用に応じて救護班との連携をしてほしい。</p> <p>Q.ケアプラザなどの福祉避難場所で対象者以外の一般の方が避難してきた場合受け入れを断っても良いものか？  A.一般の方の避難を受け入れてしまうと收拾がつかなくなってしまうため、断って良いと考える。</p> <p>・各区への説明会実施について  Q.説明会の実施予定期間、所要時間は？  A.3月以降、調整のついた区より順次開始。30分程度を見込んでいる。  Q.周知資料を区の連絡会HPに掲載しても良いか？  A.関係者資料にとどめているので一般の方が閲覧できるHPへの掲載は遠慮してもらいたい。  Q.多くのCMに周知するために大きな会場を借りて説明会を実施したい場合、会場費などの協力はあるのか？  A.各区の考え方にもよるが、場合によっては区で充てられる予算があるかもしれないので個別に各区に相談してほしい。</p>
2	平成30年予算について	<p>◆医療連携委員会  昨年同様</p> <p>◆制度対策委員会  研究報告書(提言書)の広報の活動として研修を企画していきたい。→5万円  交通費、会場費、印刷費→5万円  合計10万円(内、研修参加費で5万円の収入を見込んでおり、実質5万円)</p> <p>◆広報委員会  年賀状・暑中見舞い、印刷代など例年同様であるが、サイボウズの運用終了に伴い、次の情報共有ツールを模索している。  情報共有ツールに関して20~30万円ほど予算を計上しておいてほしい。</p> <p>◆事務局  昨年同様2万円</p> <p>◆その他①【ブロック研修費の取り扱い、金額の見直し】  ・現状では、ブロック研修を開催するブロックにばらつきがあり、18区から集めた会費が一部のブロックだけに集中してしまうのは好ましくないのでは？  ・ブロック研修費として各区に定額の予算計上をしないで、全体での予算計上を行い、その都度、定例会で金額、内容などを諮り承認を受ける方が各ブロックの実情に合わせた研修の企画ができるのではないか(金額上限、使用用途の設定は必要)。  ・ブロック研修の位置づけ(対象をどこまでオープンにするか？協議会内での企画段階、終了後の報告など)  →次回の定例会で検討予定</p> <p>※加藤代表より  ブロック研修では内容によって協議会として受講証明書を発行する(ただし、要件は県の判断であるため年度で変更になっても責任は持てない)ため、どのような研修を行うか、誰に証明書を発行したかを知らせてほしい。  また、ブロック研修を行う場合は、定例会で日時等を報告、承認をもらい、他ブロックからも多少参加できる枠を設けてほしい。</p>

No	議 題	内 容
		<p>◆その他②運営費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問介護の連絡会としても共催研修を希望しているため、次年度5万円予算計上する。</li> </ul>
3	平成 30 年度 YCM 役員(案)	<p>・H30.1.23(火)に現役員で協議を行い、下記の次年度役員案を検討。 本定例会にて下記の内容で承認を得る。</p> <p>代表 → 加藤由紀子氏 副代表 → 小松巧氏・小又真由美氏 会計 → 佐藤直人氏・角田辰雄氏 事務局 → 原田保氏・佐藤洋平氏 医療連携委員長 → 小泉嘉伸氏 制度対策委員長 → 佐藤孔一氏 広報委員長 → 松下真一氏 サポート幹事 → 医療・看護関係: 洪順氏 ケアプラザ包括関係: 石井達也氏・佐藤純氏 会計: 植村恵子氏</p> <p>※会計監査に関しては、専門の会計士の先生への依頼を検討中。</p>
4	各委員会報告	<p>◆医療連携委員会(小泉委員長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい加算に対する理解を深める</li> <li>・医療連携委員会単独で複数回研修を開催する事は予算や質の問題で困難。各区で行う医療系の研修に関して開催情報を教えて頂き、情報発信など連携していきたい。</li> </ul> <p>◆制度対策委員会(佐藤委員長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サイボウズにアップした研究内容(提言書)に関して意見を頂きたい(今月中くらい)。</li> <li>・来年度の計画を現在検討中。</li> </ul> <p>◆広報委員会(小松氏)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協賛団体の申し込み案内送付</li> <li>・サイボウズ運用終了に伴う検討</li> <li>・総会チラシ申し込み先の確認 2/23 締め切りで再度確認をお願いしたい。</li> <li>・総会資料作成(3月末完成の見込み)</li> </ul> <p>◆会計(植村氏)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通費3月末で締め切り、支払いは4月の定例会。 定期的に会議に参加されない方の分は、各区の代表にお渡しする事となる。</li> <li>・各委員会の交通費実績を提出してほしい。</li> </ul> <p>◆事務局(原田氏)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協賛団体の問合せ1件あり(案内送付予定)。</li> <li>・会員より研修の案内や各区の連絡会の入会について問い合わせが多い。 特に申し出がない場合は、各区の代表者連絡先をお伝えする。</li> </ul> <p>◆その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・YCM ホームページのメールの問合せ先に関しては、うまく活用されていないため今後 HP から削除する事とする。</li> </ul>
5	総会実行委員会	<p>講師と今週打ち合わせを行った。 本会議終了後に、役割分担など打ち合わせを行いたい。</p>
6	その他連絡事項	<p>◆ケアマネジメント標準化に関する実施検証</p> <p>厚労省からの依頼で日本総研が委託を受けている。次期制度改正に向けた実施検証を目的。</p> <p>3月9日(金)18:00~20:00 市内の会場を予定。 研修内容: 講義(20分)、今後の CM に求められる役割とケアマネジメント標準化手法の考え方(20分)、演習(80分)。</p>

No	議 題	内 容
		<p>対象者: 大腿部警部骨折、脳血管のケアプランを立てたことがある CM 100 名(内、横浜市で 50 名の見込み)。  5 万円の協力費有。  →3/5 までにサイボウズに各区の参加可能状況を教えて欲しい。</p> <p>◆地域連携委員会  ・次年度小又氏より兼武氏に変更。</p> <p>◆県協会制度対策委員会  ・H30 年度委員は佐藤洋平氏が引き受けてくださる。</p> <p>◆主マネ資格要件証明書  ・前回、当協議会が主催する該当研修に関しては参加者に対する証明書を発行する事となったが、南部ブロック研修のように研修企画者に対しても YCM から証明書を発行してもらいたい。  →挙手にて証明書発行の承認を得る。</p>